

令和元年度第1回狭山市都市計画審議会（会議録）

- ◎開催日時 令和元年8月20日（火） 13時30分から15時30分まで
- ◎開催場所 稲荷山環境センター 3階大会議室
- ◎出席委員 五十子委員、大図委員、角田委員、木村委員、田口委員、鳥山委員、増永委員、西塚委員、土方委員、笹本委員、齋藤委員、大沢委員、大島委員、田端委員、宮岡委員
- ◎欠席委員 0名
- ◎事務局 小谷野市長、堀川都市建設部長（幹事）、増田上下水道部長（幹事）、田中都市建設部次長（管理課長兼務）
都市計画課：伊藤課長、関根まちづくり推進担当課長、沼田主幹、内野主幹、濱田主幹、森本主任、平山主任、長岡主事補
- ◎傍聴者 0名
- ◎公開・非公開の別 公開
- ◎議題 進捗報告案件
議題1 第2次狭山市都市計画マスタープランについて
議題2 圏央道狭山パーキングエリア拡張事業について
議題3 入曽駅周辺整備事業における経過と進捗状況について
議題4 狭山工業団地拡張地区基盤整備事業の進捗状況について
- ◎進行内容 委嘱状の交付
会長及び職務代理の選出
議題1 第2次狭山市都市計画マスタープランについて
議題2 圏央道狭山パーキングエリア拡張事業について
議題3 入曽駅周辺整備事業における経過と進捗状況について
議題4 狭山工業団地拡張地区基盤整備事業の進捗状況について
- ◎議事録
議題1 第2次狭山市都市計画マスタープランについて、事務局から説明をした。
【質疑応答】
委員 地区別説明会の開催時間は。
事務局 19時からを予定している。
委員 現行の都市計画マスタープランを策定したときは、地区ごとに委員を募集し、数回にわたる議論を経て、地区別構想を策定していたが、今回はそのようなことを行うのか。または、地区別説明会は各地区1回のみで開催であるのか。
事務局 現時点では、各地区1回のみ説明会を開催する予定だが、必要に応じて、

複数回行うことも検討していく。なお、地区別説明会だけでなく、パブリックコメントで意見を聴取する予定である。

委員 20年後を見据えた計画であるため、様々な市民の意見を吸い上げる必要があると思う。また、説明会などで議論に参加していただくことでまちづくりに御協力いただけるとともに、まちづくりに参加する市民を育てていくことに繋がるのではないか。このようなことから、各地区1回のみ、19時からの開催だと、子育て世代の方や若者が来られないのではないか。また、様々な分野から意見を聴きたいということであれば、ワークショップ形式の会議を地区ごとに数回行うなど、意見を吸い上げるような会議形式で行っていただきたい。パブリックコメントも行うということだが、パブリックコメントはいつ行われているか認知されていないことが多く、意見がなかなか出てこない現状がある。可能であれば、市民が参加できる形式での説明会の開催を検討していただきたい。

委員 要望ということであるため、事務局にはこれを斟酌していただきたい。

【質疑終了】

議題 2 圏央道狭山パーキングエリア拡張事業について、事務局から説明をした。

【質疑応答】

委員 現在は内回り外回りともに約160台程度が駐車可能となっているが、拡張することによりどの程度駐車スペースが増えるのか。

事務局 現時点ではエリアが確定していないため、駐車マスの配置も確定しておらず正確な数字はわからないが、割合としては大型車の割合を約1.5倍程度増やす計画である。

【質疑終了】

議題 3 入曽駅周辺整備事業における経過と進捗状況について、事務局から説明をした。

【質疑応答】

委員 市道B第296号線と市道B第313号線の拡幅について説明があったが、これは土地区画整理事業の全体的な工事の進捗とともに工事を進めていくのか。

事務局 市道B第296号線の拡幅については既に道路雨水課で予算化されており、用地買収の交渉を含めた測量手続きに着手する段階であり、東口側の土地区画整理事業と同時に完成する予定で進めている。市道B第313号線については、次年度から予算確保に向けた取り組みをしていく予定である。

- 委員 市道B第313号線の拡幅は県道川越入間線まで行うのか。
- 事務局 県道川越入間線との交差点まで拡幅する予定である。
- 委員 県道所沢狭山線の雨水排水処理を商業施設予定地で行うことは可能か。
- 事務局 公共施設の中に雨水処理が可能な貯留施設を設置する計画がある。また、商業施設予定地には開発事業者が雨水処理施設を設置する形で計画を進めている。県道所沢狭山線の雨水処理は商業施設予定地の中では行うことはできないが、不老川の改修計画で河道の拡幅を実施している。これに併せて県道川越入間線に雨水管を埋設し、周辺の雨水を不老川に流すという下水道の計画を進めているところである。
- 委員 駅舎が移動すると、現在と状況が大きく変化すると思うが、周辺住民との調整はどのように行っているのか。
- 事務局 駅舎が約100m程度移動することについては、入曽地区全24自治会で説明会を行い、地権者の方にも説明会に参加していただいた。現在利用している改札を残して欲しい等の意見もあったが、反対意見はなく、基本的には示した計画で進めることについて、約7、8割の賛成意見を頂戴した。
- 委員 図面を見ると小さく不整形な住宅が散見される。駅舎が移動することにより、これらの住宅が取り残されてしまうと思うが、地権者から意見はあったのか。
- 事務局 図面では建物が建ち並んでいるように見えるが、これらはほとんどが借地であり、現在は借主が建物を壊して地主へ土地を返却している。したがって、現在はこれらのような小さい建物は残っていない。また、商店を経営している方々は説明会にも来ていただいております、個別相談を受けている中で現状では大きな混乱はない。
- 委員 駅周辺の大地主の同意が得られなかったため、前回の入曽駅周辺の開発事業は諦め、駅舎を移動させる計画になったということか。
- 事務局 入曽駅周辺の整備計画は約40年前から進めてきている。もともとは現在より大規模な土地区画整理事業を行う計画であったが、約7割の土地を所有する地主の協力をいただけなかったため、平成25年にその計画は断念した。今回の計画では、時間をかけずに事業を行うことが可能であるならば事業に協力するというお話を一部の地主からいただけたため、市が所有していた入間小学校の跡地と、協力していただける地主が所有するエリアのみで土地区画整理事業を実施することとなった。
- 委員 現在の市道B第296号線の幅員は、約6.6mだと思うが、どのくらい拡幅するのか。
- 事務局 まだ確定していないが、計画図面上では11.5mである。しかし、歩道

の計画幅員は2mだが、これをもう少し広げる可能性もある。

委員 事業完了後、ロータリーに入らずに県道入曽停車場線を利用する方が出てくると思う。そのような場合、駅への入口や県道入曽停車場線の拡幅が問題となるが、どのように対応するのか。

事務局 県に確認したところ、県道入曽停車場線の拡幅は難しいという話をいただいた。しかし、県道入曽停車場線を利用する車が、区画道路1号線を通ってロータリーへ分散されることもあるため、現時点で交通量が増加することは想定しておらず、交通量は減少する見込みで計画しているが、可能な限り新設したロータリーに車を誘導していきたいと考えている。今後、警察との協議で時間規制等も検討したいと考えているが、現状では新設するロータリーを利用していただけるという想定で事業を進めている。しかし、使い方によってはそのようなことも検討していく。

委員 当初の計画から西口側が土地区画整理事業から外れたということは一番大きな変更だと思うが、変更したことについて十分な説明をいただけていないと市民の皆様から聴いている。今後、鉄道事業者と基本設計に関する協定を締結していくと説明があったが、今後の説明会はどの時点でどのような形式で開催することを予定しているのか。

事務局 今回、土地区画整理事業のエリアを変更したが工事の内容自体は変更していない。市民への周知については、狭山市公式ホームページで事業計画が変更された部分について公表している。今後の市民への説明は、大幅な計画変更などがあれば説明会の開催を検討する必要があると思うが、現時点で大幅な変更は行われていないため、機会があれば説明させていただくことを考えている。

委員 エリアの変更は個人的には大幅な変更だと思う。なぜ西口側は土地区画整理事業から外れたのか。西口側は引き続き地権者と交渉を行うということは、現時点では計画を進められるだけの同意を得られていないということになる。そうすると西口側は事業が遅れるのではないかと懸念を持っている。また、西口側は公共交通機関がないため、駐輪場の確保が非常に重要な課題である。1,000台を超える駐輪場をどこに確保するのか。この課題は1年以上前から話に出ているが、未だに市民の皆様へ説明できていないため、今後どうなるのか心配だ。周知方法についても、狭山市公式ホームページに公表しているとのことだが、70代以上の7割はインターネットを利用していないというデータもある。より多くの方に周知するには丁寧な説明が必要だ。少なくとも基本設計に関する協定の締結前には市民の皆様へ説明していただきたい。最後に雨水処理について、商業施設

予定地に降る雨に対しては処理が可能な施設を設置していただけると認識している。しかし、商業施設予定地周辺は大雨の度に冠水する現状がある。県道所沢狭山線に下水管を埋設し、不老川に水を流すということだが、計画の完成年度はいつ頃か。それにより、冠水しなくなることが確約されているのか。この入曽駅周辺整備事業が完了した後、新たに貯留施設等を作るのは難しいと思う。したがって少なくとも一定程度、商業施設予定地に対する降雨量以上に雨水処理が可能な貯水池機能を持つ施設を作る必要があると考える。説明の中で公共施設に雨水処理施設を作るという話があったが、ロータリーの下にはロータリー以外に降る雨に対しても処理が可能な施設は作られる計画はあるのか。

事務局 事業規模に見合った雨水処理施設は設置しなくてはならない。不老川に下水管を繋ぐ計画については、市街化区域の雨水排水計画に見合った整備を行うと所管から聞いているが、当事業と整備時期が合致するかは未確定である。しかし、当事業と併せて整備する方向で話を聞いている。当事業に伴う排水施設の開発については、法に見合った整備をすることとなる。それ以上の施設を整備することは難しい。

委員 この事業と併せて雨水排水整備をしなければ、今までのように冠水してしまったとき、改めて整備することは難しいと思う。事業計画の中に必要な貯留施設の整備を入れて欲しい。想定外の雨が毎年降っており、整備後に新しい商業施設が冠水する可能性もあるのでぜひお願いしたい。最後に、公共施設の計画として公園2箇所を作るという話があったが、場所と規模は。また、小学校跡地であることから、メモリアル的な物の設置は検討しているのか。

事務局 公園については、土地区画整理法で敷地面積の3パーセント設けなければならないと決まりがあるため、2箇所併せて600㎡弱の規模を計画している。配置については、1箇所が東口側ロータリーへの入口付近交差点の南側、もう1箇所は東口側ロータリーの北東、配布資料「入曽駅周辺整備事業概略設計図(案)」の市道B第299号線と記載されている上辺りである。メモリアルについては、既に所有している入間小学校開校百年記念碑や、閉校記念碑を設置する予定である。また、小学校跡地にあるケヤキの木は樹木医に診てもらっているが移植できない大きさである。これらも含めてケヤキの木をどうするか検討していきたい。

委員 まだまだ賛否両論されている事業であり、賛成していただける方のみのエリアで計画しているがまだ苦しい状況かと思われる。そのような難しい点はあるが、このような場所で説明して得た意見を計画に活かしていただき

たい。

【質疑終了】

議 題 4 狭山工業団地拡張基盤整備事業の進捗状況について、事務局から説明をした。

【質疑応答】

委 員 何社か企業が来ていただけるのは非常にありがたいが、現状、事業区域周辺道路は渋滞が発生しやすく、新たに工場が立地することで更に渋滞が発生しやすくなるのではないかと。新設道路の整備も行われると思うが、交通量調査や、工場立地後の交通量の見込みが分かれば教えていただきたい。

事 務 局 両地区の企業が立地した場合における交通量について、正確な数量は把握していないが当然増加する。増加を見込んだ上での渋滞対策としては、交通管理者である埼玉県警察と協議を行っている。また、西地区の西側を南北に走る国道407号線について、当事業と併せて入間市側から日高市側へ向かう右折帯を整備することで、渋滞対策に効果がみられると考えている。

委 員 西地区については残留希望の地権者がいたため工業地域として指定し、東地区については地区全体を工場用地とするため工業専用地域として指定したのだと思うが、工業専用地域は規制が厳しく住宅が建築できない。東地区について、将来的に工業地域へ変更することは可能か。

事 務 局 不可能ではないが、東地区については地区内に残留を希望する地権者がいなかったため、工業専用地域を指定した。

委 員 将来的に社会情勢が変化し、工場だけでは土地利用が賄えない状況になったときに工業専用地域の指定が足枷になる。そのようなことを考えると工業地域に指定した方が土地利用の幅が広がると思う。

事 務 局 当事業は埼玉県の田園都市産業ゾーン基本方針に則り事業を進めた。この方針は工場を誘致するため、用途地域は基本的に工業専用地域の指定を推奨している。西地区については既存の住宅や商業施設があったため、やむを得ず工業地域の指定をしたが、基本は工業専用地域を指定し、産業を活性化する方針で事業を実施している。

【質疑終了】

<審議会終了>